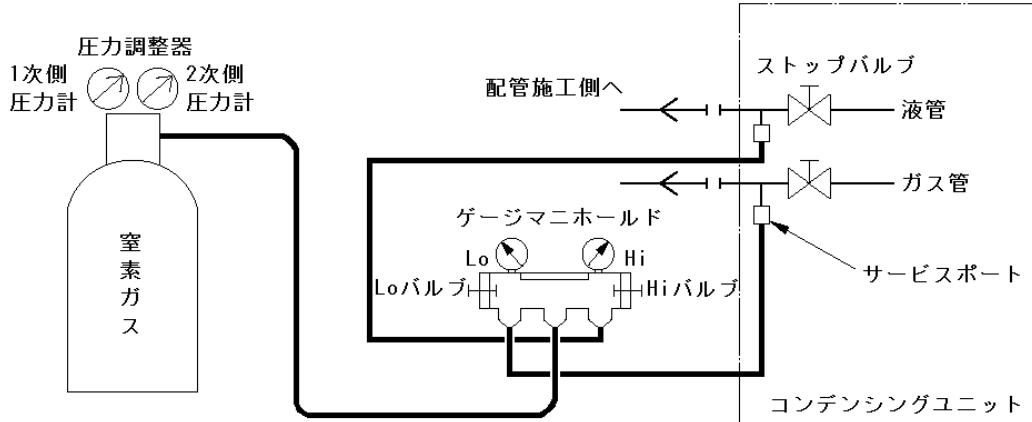


**第54回技能五輪全国大会 冷凍空調技術職種
気密試験 作業標準**

1. 器具類接続要領



気密試験時の器具類接続図

2. 作業手順

- ① 圧力調整器の圧力調整ハンドルがゆるんでいること（弁閉状態）を確認する。
- ② コンデンシングユニットのストップバルブ（液管、ガス管）が全閉状態であることを確認する。
- ③ 1. 器具類接続要領のとおり器具類を接続する。
- ④ ゲージマニホールドのバルブ（Lo、Hi）を全閉にして15秒放置し、ゲージマニホールドの圧力計が上がらないことを確認する。（ストップバルブの気密確認）
- ⑤ ゲージマニホールドのバルブ（Lo、Hi）を全開にする。
- ⑥ 窒素ボンベの元コックを開く。
- ⑦ 圧力調整器の2次側圧力計とゲージマニホールドの圧力計を対比しながら、圧力調整器の圧力調整ハンドルをゆっくり閉めて（弁開）0.3MPaまで昇圧し、異常のないことを確認する。^{※1}
- ⑧ 圧力を0.8MPaまで昇圧し、異常のないことを確認する。^{※2}
- ⑨ 圧力を気密試験圧力の1.6MPaまで昇圧し、窒素ボンベの元コックを全閉にする。^{※2}
- ⑩ ゲージマニホールドのバルブ（Lo、Hi）を全閉にして15秒放置し、圧力が下がらないことを確認する。
- ⑪ 気密試験合格確認後、ゲージマニホールドのバルブ（Lo、Hi）を全開にし、ホースをゆっくりゆるめ圧力を逃がす。

※1 圧力計の指示値に差異があった場合は、昇圧を即刻中止し圧力計を確認する。

※2 圧力が低下した場合は、発泡液などを使用して漏れ箇所を特定し、管内圧力を大気圧まで降下させてから修理する。

以上

この作業標準は、技能五輪冷凍空調技術職種競技課題のみを対象としている。